

科目名	ソフトウェア演習		英文表記		Software Practice		2013/3/15	
科目コード	1205							
教員名: 神里 志穂子・金城 伊智子 技術職員名:							作成	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科			1年	必	履修	1単位	実習	後期
科目目標	①Unixのシステム構成の理解, 基本コマンドなどを修得 ②システムの基本操作, ファイルの常態確認ができる ③アプリケーション作成演習							
総合評価	課題(100%)で評価する							
科目目標 達成度と 評価方法	科目達成度目標				達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	Unixのシステム構成の理解, 基本コマンドなどを修得			⇒	基本的なコマンドが修得できたか課題で評価する	30%	
	②	システムの基本操作, ファイルの常態確認ができる			⇒	システムの基本操作の確認に関して課題で評価する	30%	
	③	アプリケーション作成演習			⇒	アプリケーション作成の課題で評価する	40%	
本科・専攻科 教育目標	1	2	3	4				
	○		◎					
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目				0	0	100	100	
基礎的理解		①②				40	40	
応用力(実践・専門・融合)		③				10	10	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)							0	
主体的・継続的学修意欲		①②③				50	50	
授業概要、方針、履修上の注意	Unixの基本操作やプログラミングの実習を通して, サーバなどに利用されているUnixの基本利用技術をマスターし, マルチユーザの仕組みを体験することで, サーバとユーザの関係の基礎を学ぶ. アプリケーションを作成する環境構築, アプリケーションを作成しながらプログラムの基本を学ぶ.							
教科書・教材	教員自作のテキスト, パワーポイント・プレゼン資料. UNIX入門関連の図書.							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	ガイダンス	2	講義の進め方や課題の提出方法を説明する. Unix		
17	ディレクトリ構造	2	ディレクトリ構造の理解. ファイルとディレクトリの管	演習に沿った課題を課す	
18	ファイル操作の確認	2	Vi, emacsの利用について学習する	〃	
19	データ処理1	2	データの抽出, 流れ処理に関して学習する	〃	
20	データ処理2	2	データの抽出, 組み合わせ処理に関して学習する	〃	
21	プロセスと属性	2	プロセスの状態, ファイルとディレクトリの属性に関し	〃	
22	プロセスと属性	2	プロセスの状態, ファイルとディレクトリの属性に関し	〃	
23	データの編集	2	データの一括編集, ファイルの集積と記憶領域の節	〃	
24	データの編集	2	データの一括編集, ファイルの集積と記憶領域の節	〃	
25	アプリケーション開発環境設	2	C++の環境を構築し, スライドショーを作成する	〃	
26	C++の基本を学ぶ	2	コンパイルの方法・実行の仕方など基本操作を学ぶ	〃	
27	アプリケーション開発	2	画像表示部分を作成	〃	
28	アプリケーション開発	2	ボタン操作を行えるよう改良	〃	
29	アプリケーション開発	2	画像をフォルダから選択できるよう改良	〃	
30	アプリケーション開発	2	スライドショーができるように改良	〃	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
① 課題演習(その週の講義内容に沿った内容について演習課題を課す.)				各2時間×14回	
②					
③					
備考欄					